資料１－１

第４次新潟市障がい者計画の進捗状況

【進捗の評価方法】

○計画期間：6 年間
今回は、計画期間 6 年目の 8 月時点における進捗状況を確認

○計画の構成：３つの基本目標に対し、計２８項目の各論について主な事業が列記
計２８項目の各論の内容について進捗状況を４段階で各所属が自己評価

Ａ：想定を上回った
Ｂ：想定どおり
Ｃ：実施したが一部未達成
Ｄ：着手できなかった

【進捗の評価結果】

評価		項目数（割合）
Ａ	想定を上回っている	０
Ｂ	想定どおり	２７（９６．４%）
Ｃ	実施したが一部未達成	１（３．６%）
Ｄ	着手できていない	０

想定どおり以上：２７／２８項目（９６．４%）

【未達成項目（Ｃ・Ｄ）】

項目	評価	理由
６（2）障がいを理由とした差別の解消及び権利擁護の推進	Ｃ	一部の虐待通報について、迅速な対応ができなかった事案があった。

第４次新潟市障がい者計画　基本目標及び各論

基本目標	各論	４段階評価
地域生活の支援体制の充実	1　地域生活の支援	
	(1)相談支援体制の充実	B
	(2)在宅サービスの充実	B
	(3)経済的な支援	B
	(4)サービス基盤の充実	B
	(5)地域生活を支える人づくり	B
	(6)スポーツ・文化活動の振興及び余暇活動の支援	B
	(7)情報提供・意思疎通支援の充実	B
	(8)災害時支援体制の整備	B
	2　保健・医療・福祉の充実	
	(1)障がいの予防と早期の気づき・早期の支援	B
	(2)医療・リハビリテーションの支援	B
	(3)精神保健と医療施策の推進	B
	(4)難病に関する保健・医療施策の推進	B
自立の実現に向けた支援と療育・教育の充実	3　療育・教育の充実	
	(1)就学前療育の充実	B
	(2)学校教育の充実	B
	(3)放課後等活動の充実	B
	4　雇用促進と就労支援	
	(1)雇用促進と一般就労の支援	B
	(2)福祉施設等への就労の支援	B
地域社会の障がいに関する理解の促進	5　生活環境の整備	
	(1)住宅環境の整備	B
	(2)安心・安全なまちづくりの推進	B
	(3)緊急時支援体制の整備	B
	(4)犯罪・消費者トラブルの防止	B
	6　障がいを理由とした差別の解消及び権利擁護の推進	
	(1)障がいを理由とした差別の解消の推進	B
	(2)権利擁護の推進	C
	(3)障がいと障がいのある人に対する理解の普及	B
	(4)福祉教育の推進	B
	(5)ボランティア活動の支援・推進	B
	7　行政等における配慮の充実	
	(1)選挙等における配慮等	B
	(2)行政機関等における配慮及び障がい者理解の促進等	B